

### 3 新・秀作バラッド

#### —<sup>レイプ</sup>強姦罪で絞首刑になるべき正真正銘のイングランド司祭—

##### I.

我らをこれほどまでに愛してくれるイングランドの同胞の皆さん  
すべてにおいて我らに親切な皆さんが  
(彼らに祝福あれ) 正真正銘のイングランドの首席司祭を  
今年 我らの教会のためにと送ってくださった  
<sup>クレープ</sup>縮緬に身を包んだ中では最高の司祭様  
悪く言っても 彼は<sup>レイプ</sup>強姦を犯したというだけのこと

5

##### II.

司祭はダブリンへ向かう途中 チェスターに立ち寄り  
そこで人妻を気に入って  
部屋へと押し入り ものにしようとした  
だが女は命よりも貞節が大事と  
暴れまくり 抵抗しまくり なんとか逃げ出し  
<sup>レイプ</sup>強姦を恐れて 客人が集まる部屋へ駆け込んだ

10

##### III.

司祭は 獲物を取り戻そう  
初志貫徹 彼女を襲おうと追いかけた  
しかし客人たちが女をかばって立ち はだかり  
司祭を棍棒で打ち 袋叩きにして 階下へ蹴り落とした  
司祭としての威厳は地に落ち  
<sup>レイプ</sup>強姦どころではなくなった

15

##### IV.

司祭はダブリンにやってくると 売春宿へ行き  
<sup>あるじ</sup>宿主に娼婦を連れてくるよう命じる  
自分の祭服を晒したとて何のためらいもなかった  
なにしろ これまでずっとやってきたことだから  
司祭はブドウ酒で酔っ払い  
見事淋病に感染するも <sup>こと</sup>強姦には至れず

20

##### V.

司祭と<sup>あるじ</sup>宿主は 陽気な仲間同士 25  
二週間快樂の海を泳ぐと決めた  
どういうわけか 二人とも  
一日中飲み明かし 夜通し女遊びに<sup>うつつ</sup>現を抜かす<sup>たち</sup>性質  
<sup>あるじ</sup>宿主はあらゆる悪遊びで司祭に付きあうが  
<sup>レイブ</sup>強姦だけはやめといた 30

#### VI.

このプロテスタントの熱心な信者 このイングランドの聖職者は  
教会においても国家においても確固たる信念の持ち主  
ハノーバー王朝に対してはスティールよりも忠実で  
トーリー党員がこの世に生きていることを嘆いていた  
これほど忠実な者が首を吊られるべきなのか 35  
<sup>レイブ</sup>強姦以外は罪を犯していないというのに

#### VII.

古きローマカトリックの教会法では 賢者が記したとおり  
聖職者には教会法の権利として<sup>めかけ</sup>妾がいた  
他の聖職禄も兼ねられず誰がファーンズの主席司祭になるというのか  
望むなら 先例をいくらでもあげられよう 40  
売春婦がそんなにも安いのに なにゆえこの主席司祭が  
危険と苦勞を冒してまで わざわざ<sup>レイブ</sup>強姦などしなければならぬのか

#### VIII.

もしも運命が気まぐれに  
(<sup>そなた</sup>其方のことだ 偉大なるスメドレーの後継者よ)  
<sup>そなた</sup>其方に聖職衣 司教冠 <sup>ロシエ</sup>白衣を授けてもしたら 45  
<sup>そなた</sup>其方は誰に似るだろう? 当ててみよ  
私にはアサートン氏の姿にしか見えぬであろう  
男色で絞首刑になった男 ちょうど<sup>そなた</sup>其方が<sup>レイブ</sup>強姦でそうなるように

#### IX.

ああ <sup>そなた</sup>其方は立派なチャーターズ大佐をうらやましく思わぬか  
<sup>よわい</sup> 齢七十にして<sup>そなた</sup>其方と同じ罪で有罪となった男だ 50  
その首を吊るすためならイングランド中がガーターを差し出すだろう  
しかし彼は生きている 再び<sup>レイブ</sup>強姦する構えでいる  
ならば<sup>そなた</sup>其方は一エルの丈夫な紐で自らの首を絞めるがよい  
<sup>そなた</sup>其方が<sup>レイブ</sup>強姦の罪を贖うグロートすら持たぬのだから

X.

くだんの司祭は売春婦たちが進んで応じるのが気に入らず  
もがき叫ぶ女を欲しがった  
司祭は女を存分に堪能し まるまる一シリングを節約した  
だがこれにはとんでもない代償が待っていた  
司祭の災難と苦悩は積もり積もって山となり  
強姦<sup>レイプ</sup>罪で絞首刑となるのだ

60

XI.

犯<sup>や</sup>られたのが若い娘たちなら それは自ら求めたも同然  
どうしてわざわざ男に抵抗するのか  
もし女たちがただ静かに横になって 声を潜めるなら  
悪魔も司祭も強姦<sup>レイプ</sup>などしないだろうに  
頑丈な麻のロープを  
強姦<sup>レイプ</sup>罪で司祭の首に巻きつける必要もなかりうに

65

XII.

我らが教会 我らが国家をイングランドは支えて下さる  
そのことを真<sup>まこと</sup>のプロテスタントたちは喜ぶべきだ  
イングランドは我らに司教 判事 主席司祭を送ってよこすが  
もっとマシな者がいたなら もっとマシな者を与えてくれたらう 70  
だが 野次馬たちも目をむいて開いた口がふさがらなかりう  
イングランドの主席司祭が強姦<sup>レイプ</sup>罪で絞首刑になるなどとは

(三木菜緒美訳)